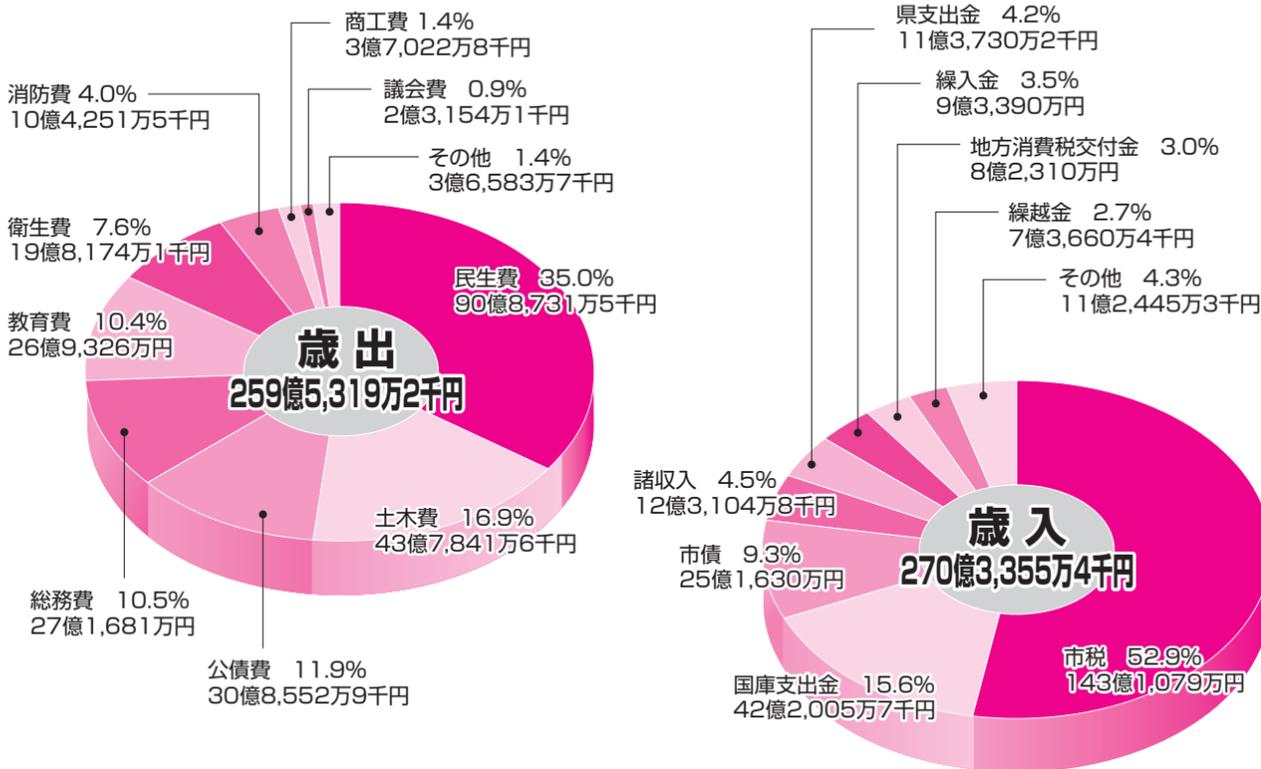


## 平成22年度八潮市一般会計歳入歳出決算の概要



平成22年度八潮市一般会計歳入歳出決算の歳入総額は、270億3355万4千円、歳出総額は、259億5319万2千円で、歳入歳出差引額は、10億8036万2千円でした。また、歳入歳出差引額から、翌年度への繰越財源6641万1千円を差引いた実質収支額は、10億1395万1千円で、単年度収支額は、2億9615万3千円でした。なお、平成22年度八潮市一般会計歳入歳出決算の概要については次のとおりです。

### 討論

#### 反対討論(日本共産党)

平成22年度決算は、世界的な景気後退の影響を大きく受けた決算であり、特に、個人市民税収入額に顕著に現れています。一人あたりでは、平均で9819円、特に、普通徴収分で1万5687円減額となつています。このようなところに市民生活の状況が読み取れます。

一方、法人市民税は、対前年度比で調定額で約1億円増額となつています。法人の規模別毎に前年度比較してみますと、6・1号法人がマイナスで、特に、1号法人の1919社、75%が均等割のみとなつており、法人市民税全体では回復が見られた決算ですが、地元の小規模事業者は、なお苦勞されている様子が見え、お苦しくるところです。

歳出では、執行割合が予算対比92・6%、不用額が6億4574万9835円となつています。民生費、衛生費の不用額が多く、やむをえない事業もありますが、的確な判断で、より有効な財政措置がのぞまれます。委員会審議の中でも議論となつた家庭児童相談室の整備、高齢者在宅福祉サービスの拡充、さらには、市民の健康づくりへの積極的支援を医師会等に働きかけ、より充実させることが求められます。健康であることは

#### 平成22年度八潮市一般会計歳入歳出決算について、討論の概要をお知らせいたします。

すべての方面へのプラス要因となりません。

また市民要望の多い道路照明灯やカーブミラー等の交通環境整備、地域の防犯施設整備などの積極的対応が望まれます。

地元事業者支援のための施策として、平成22年度リフォーム助成事業を大幅に内容も予算も拡充して行いました。この事業は、大きな反響を全国的に与えました。今議会一般会計補正予算にも盛り込まれたところでありますが、今後よりいっそう対象となる工事範囲の拡大や助成金支給方法の検討などを進めて頂きたいと思ひます。

実質収支が10億1395万1千円、過去20年で最高額になっています。基金繰入額も多かつたものですが、財政支援という性格が強い3つの繰出先会計で、7億8600万の赤字となつています。仮にこれら会計への繰出額を実態に合わせたものにすれば、一般会計の実質収支はさらに高額になります。

財政が大変と言われますが、更なる効率的な財政運営で市民生活応援の市政運営が実行できるのではないのでしょうか。執行部のより一層の努力を期待して討論とします。

#### 賛成討論(自民クラブ)

決算年度中の経済情勢は、海外経済の改善や緊急総合経済対

策の効果などにより、景気は持ち直しておりましたが、東日本

大震災の影響により、電力供給の制約や原子力災害、金融資本市場の変動など厳しい状況にあり、経済活動の安定が懸念されています。雇用情勢は、失業率が高水準で厳しいものです。

平成22年度八潮市一般会計歳入歳出決算の歳入は、総額270億3355万4千円で、市税確保の厳しい中、収納率は、前年度比で0・1ポイント増、滞納繰越分で1・4ポイントの増、市税全体で前年度比0・4ポイント減の89・7%です。

次に歳出は、予算現額280億1488万6千円に対し、決算額259億5319万2千円で、執行率は92・6%です。年度中の主な事業は、つくばエクスプレスが開業して5年目を迎え、駅周辺南部中央地区を中心としたまちづくり交付金事業及び区画整理事業など、まちづくり計画の策定業務委託を行い、自治基本条例を制定し、市民と行政との協働によるまちづくりを期待するものです。

福祉関係は、子ども手当支給事業や地域の子育て支援の充実、その拠点の整備などを図っています。障がい者の通所施設の整備や児童保育所の増設など、きめ細やかな地域福祉の充実も図られています。

防災関係は、防災体制の充実

を図るため地域自主防災組織の育成と強化の補助事業や、地震ハザードマップが全戸に配布されました。

環境関係は、環境基本計画に基づき、太陽光発電システムなどの新エネルギーシステムの補助制度等に取り組んでいます。

商工観光関係は、中小企業支援として、資金融資関係で利子補給率の引き上げ、不況対策資金融資制度の充実、緊急雇用創出事業、住宅改修資金補助制度の充実など、地域経済の発展につながるものと期待します。

土木関係は、葛西用水路の親水化整備、生活に密着した道路維持管理・水路整備など、その姿勢は高く評価できます。

消防関係は、化学消防ポンプ自動車の購入、火災予防体制・救急救助体制の充実、また救急救命士の育成など計画的に事業を実施していると思われまます。

教育関係は、学校施設の維持管理、耐震補強、大規模改修工事の実施、また、小中一貫教育の推進にも力を入れていくところも評価できます。以上、歳出においても厳しい財政状況のもと、適切に予算執行が行われたことを評価し、平成22年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定につき、賛成の意を表して討論とします。